

# 学校だより（臨時号）

平成 30 年 1 月 29 日

尼崎市立七松小学校

校長 森本 秀子

## 平成 29 年度全国学力・学習状況調査の結果と本校の取組について

平成 29 年度全国学力・学習状況調査の結果を分析し、七松小学校の児童の学ぶ力をさらに伸ばすために、大切だと思われる内容をまとめたものです。「心豊かでたくましく 学び続ける子ども」を育成するために、学校、家庭、地域が一体となった教育活動の充実に向け、引き続きご支援、ご協力をお願いいたします。

### 平成 29 年度 本校の学力状況（A：知識を問う問題 B：活用力を問う問題）

	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B
七松小	74	57	75	43
尼崎市	72	55	76	43
全国	74.8	57.5	78.6	45.9

本校の学力状況は、国語・算数とも全国及び県平均とほぼ同じ正答率です。今後とも、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るとともに、それらを活用して思考力・判断力を高めていきたいと考えております。さらに、表現力の向上にも力を入れていきたいと思っております。

### 【調査結果から】

#### 国語

〈成果〉

- ・ A・B ともにほぼ全国平均に達している。
- ・ 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」において、全国平均より高い。
- ・ 漢字を正しく書くことが、全国平均より高い。

〈課題〉

- ・ 互いの話を聞き、考えの共通点や相違点を整理しながら、進行に沿って話し合うこと。
- ・ 目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書くこと。
- ・ 目的や意図に応じ、引用して書くこと。

〈改善方法〉

- ・ 目的に合わせて、考えを交流できるように、ペアトーク、グループトーク、クラストークを取り入れる。
- ・ 学期に 1 回ノート検定を行い、目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして書くようにする。
- ・ 読書活動や図書室の利用に力を入れて、言語活動の充実に努める。

#### 算数

〈成果〉

- ・ 「数と計算」の領域がほぼ全国平均に達している。
- ・ 商を分数で表すことが、全国平均より高い。
- ・ 問題に示された二つの数量の関係を一般化して捉え、そのきまりを記述できることが、全国平均より高い。

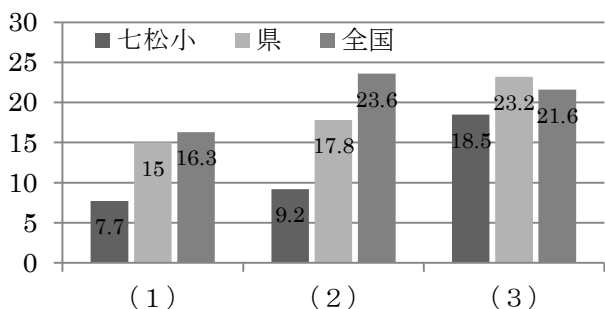
〈課題〉

- ・ 「図形」の領域が全国や県平均より低い。
- ・ 立方体の面と面の位置関係や構成を理解している。
- ・ 割合を比較するという目的に適したグラフを選ぶことができる。

〈改善方法〉

- ・ チャレンジタイムで、計算に取り組んでいるが、図形問題にも取り組む。
- ・ 図形の指導では、構成・分解などの活動を通して、その性質の理解を深める。
- ・ 様々なグラフの特徴を理解させ、目的に応じて、適切なグラフを選択できるようにする。

### 児童質問紙調査（課題）

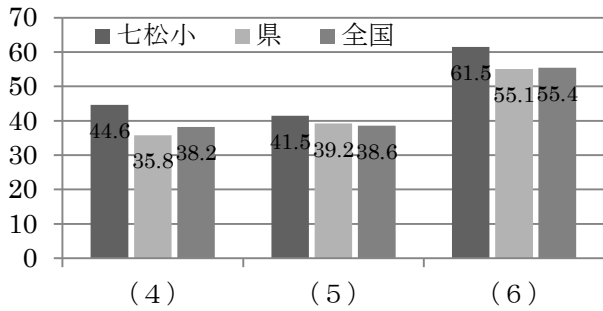


- (1) 家で学校の授業の予習をしている。
- (2) 家で学校の授業の復習をしている。
- (3) 友達の前で自分の考えや意見を発表する。

3年生から「スタディプラン」を取り入れています。1週間の予定を知り、自ら考える手立てにしています。予習や復習なども、計画的に行えるようにしていきます。

保護者の皆様も、毎日チェックしていただき、コメントも含め、お声かけいただくと助かります。

## 児童質問紙調査（成果）



- (4) 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。  
 (5) 自分には、よいところがあると思う。  
 (6) 学校に行くのは楽しい。

「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」の設問に「している」と回答した児童は、国語、算数ともに平均正答率が高く、「全くしていない」と回答した児童と、学力状況では10点ほどの開きがあります。

ここから、規則正しい生活は正答率と比例していることがわかります。引き続き、基本的な生活習慣の定着へのご協力をお願いいたします。

## 【調査結果を基にした学習のポイント】

### 国語

〈課題が見られたことに対する学習のポイント〉

- グループや学級全体の問題解決などに向けて、司会者や提案者、参加者などの役割を決めて話し合い、より一層豊かな相互交流を図ることができるようにしていきます。
- 低学年の段階から、意図的、計画的に手紙を書く活動を設定し、相手を明確にして伝えたり、返事をもらったりするような交流を重視します。その際、低学年では形式を重んじるよりも、短い文や伝言でもよいので、書いた手紙で交流する楽しさを感じることができるようになります。
- 説得力をもって自分の考えを伝えるためには、判断の根拠や理由を明確にしながら自分の考えを述べるのが重要です。その際、本や文章などから必要な語句や文を引用することができるようにします。

### 算数

〈課題が見られたことに対する学習のポイント〉

- 円を用いて正多角形をかく活動を設定し、その中で、「正多角形は合同な二等辺三角形で構成できる」という性質を見いだすことができるようにします。
- 具体物を用いた活動を通して、展開図からできあがる立体図形や、立体図形を切り開いてできる展開図を想像する機会を設けます。また、展開図を基に実際に立体を組み立てる前に、展開図のどの面が平行または垂直になるか想像したり、組み立てられた立体を基に、平行または垂直になっている面が、示された展開図のどの位置に当たるのかを想像した上で、実際に切り開いて確認したりします。
- 日常生活の事象を、表やグラフの特徴を基に考察したり、表現したりする学習を充実します。

## 【本校の取組】

### 1 「七松スタイル」

授業のはじめに、1時間の授業で子どもたちが身に付ける力をはっきりさせるめあての提示と、ペアやグループで話し合いながら考えを深め、最後にその1時間でめあてを達成することができたかを振り返る授業、子どもたちが主体的・対話的に取り組む授業を行っています。

### 2 チャレンジタイム

掃除後の帯時間を使って、主に算数の基礎基本の力を定着させるように全校でプリント学習に取り組んでいます。

### 3 その他、朝の学習タイム、ノート検定、理科朝会、音読集会、けんこうチャレンジカード、読書活動の推進など、継続して取り組んでいます。

## 【ご家庭へのお願い】

基本的な生活習慣は、低学年のうちに身に付けておくことが大切です。寝る時間が遅い子は早く寝るようにすると、朝も早くなり、朝ごはんがしっかりと食べられ、脳の働きもよくなります。また、テレビやゲームの時間を決め、読書や学習時間を【学年×10+10分】を目安に取り組みましょう。今後も子どもたちの成長のために、ご家庭でのご協力をよろしくお願いいたします。